



「 神の御住まいである教会 」

| 2021年度の目標を覚えて① エペソ人への手紙2：19-22他 小野寺 望 牧師

これまでのテーマと聖句

\*2015年：「仕事に取りかかれ。わたしがあなたがたとともにいるからだ」  
ハガイ書2：4

\*2016年：「どうか、希望の神が、信仰によるすべての喜びと平安で  
あなたがたを満らし、聖霊の力によって希望にあふれさせて  
くださいますように。」  
ローマ書15：13

\*2017年：「…神がみことばのために門を開いてくださって、私たちが  
キリストの奥義を語るように祈ってください。」  
コロサイ書4：3

「聖書に裏付けられた聖霊の導きを」

\*2018年：「みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけ  
の者となってははいけません」ヤコブ書1：22

「生きて働く信仰」

\*2019年：「心を新たにされ続けよ」(ロマ12：2)

\*2020年：「神に愛された者」(1ヨハネ4：7)

【 エペソ人への手紙 2章 】

19 こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、  
聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。

20 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエス  
ご自身がその要の石です。

21 このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある  
聖なる宮となります。

22 あなたがたも、このキリストにあって、ともに築き上げられ、御霊によって  
神の御住まいとなるのです。

【 ヨハネの手紙第一 】

4：7 愛する者たち。 私たちは互いに愛し合ひましょう。愛は神から出て  
いるのです。 愛がある者はみな神から生まれ、神を知っています。

\* 特に断りが無い限り、新改訳2017より使用

## ◆ はじめに

| 2020年度の目標：「神に愛された者」 (ヨハネ4：7)

### 1 救われていることの確認 (2：29)

(1) 愛によるテスト (2：7-11)

- \*ヨハネは愛し合う命令を「古い命令」と呼ぶ (7節)。
- \*確かにレビ記19章から命令は存在した。
- \*グノーシス主義者たちが、自らを「新しい知識」と誇るのに対抗した。
- \*主イエスによる新しい命令は「わたしが愛したように、愛すること」 (ヨハ13：34-35)

(2) 信者のいる所では、まことの光が輝くべき

- \*兄弟を憎む者：グノーシス主義者
- \*愛し合う兄弟は、光の中におり、つまずきを置くことがない。

### 2.愛にとどまることによる確信 (3：1-4：21)

(1) 清い歩みと兄弟愛 (3：1-18) \*愛とは相手の最善を願うこと

- ① 霊を見分ける：正しい教えは、教師を通して聖霊からくる。  
教えの正しさは、その霊が本物かどうか問われる。  
イエスを正しく語らない (異端) は、反キリストの霊。
- ② 愛を知り、実践する前提として、キリストを正しく理解する必要がある。

\*メッセージに耳を傾けない者は、神を知らない者であり、偽りの霊による者。

(2) そのために～キリスト・イエスの愛の内にとどまれ

- ① それは父なる神の愛の中にとどまることでもある。
- ② 互いに愛し合う 「わたし (イエス) があなたがたを愛したように」

(3) 新しい戒め \*「キリストの律法」1コリ9：21、ガラ6：2、「自由の律法」ヤコブ1：25

- ① モーセの律法は、一つに違反したらすべてを破ったに等しい。
- ② キリストの律法は、愛の動機で事をなすならば、すべてを守っているに等しい。

### 3.まことの光が輝く宮へ 本年のテーマ聖句 (エペソ2：19-22) へ

## ◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 「神の宮」として教会が成長するために

\*このメッセージは、愛に結ばれた神の宮「教会」について学ぶものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

### I 聖徒たちと同じ国民 (19～20節)

#### 1.文脈の確認 「こういうわけで」

- (1) 異邦人も信仰により、「新しい人」とされた。  
\* 神の契約と約束においては、他国人や寄留者ではなくなった。

(2) この点で、「聖徒」たちと同じになった。

\*この箇所の「聖徒」は、異邦人信者の基であるイスラエル人信者を指す。

### 2.使徒と預言者の土台

(1) 両方ともヘブルの用語であり、新約時代の教え (信者が守るべき戒め) の基礎

- ① 土台は建物が建った後は動かさない  
\* 両者の賜物は既にその役目を終え、今日その職に召される者はいない。  
\* 聖書を付け加えたり、その役目を再び据えることはできない。

(2) さらに大切なのは礎石 (かなめ石※) である。※コーナーストーン

- ① メシアは「石」に例えられる。イザ28：16、マコ12：10、使：11、1ペテ2：6-7など
- ② わたしは岩の上に教会を建てる～使徒ペテロのことではない。  
\* ペテロがメシアと認めたイエスご自身の上に (普遍的) 教会を建てる約束。

## II 教会は完成途上である (21節)

### 1.教会における信者

(1) 教会に集う一人ひとりが、神の家を構成する「生ける石」である。1ペテ2：5

- ① 普遍的教会の聖句で、地域教会には、信者と未信者が混在している。
- ② 教会は確かな基礎 (土台) の上に置かれている。
- ③ 互いの賜物を合わせて、協力、依存してゆく必要がある。

### 2.新しいひとりの人 (14～18節)：

- ① ユダヤ人信者と異邦人信者が一つに結ばれる。\*参照 聖霊のバプテスマ

### 3.聖霊の働きによって成長し、栄光があふれる聖なる宮となる。

- ① 信者の内だけでなく、教会 (群れ) の中に神の臨在が宿る。
- ② すべてが完成するのは、神の計画がすべて完了したとき (3：20-21)

## III メシアのみからだ (普遍的教会を指す) を建て上げよ

1.「建て上げる」：みことばを学び、誤った教えに惑わされなくなる。4：11-16

- (1) 信者一人ひとりが成熟し、賜物を用いて、一つのいのちとして成す使命。
- 2.互いを結び合わせる思い：「愛」御霊の賜物。メシアの犠牲に感謝する感情。

## ◆まとめ：「神の宮」として教会が成長するために

### 1.地域教会は神の宮である。

- (1) 信者は神の宮 (1コリ6：19)
- (2) 普遍的教会も神の宮 (エペ2：20-22)
- (3) 地域教会も神の宮 (1コリ3：16-17)

### 2.この世が、信者のメシアに対する愛を認めるために

- (1) 神に愛され、互いに愛する喜びができるように・・・